

夏休みおすすめ図書 ～中学生向け～

「西の魔女が死んだ」 梨木 香歩//作 小学館 913ナ (児童) B913.6ナ (一般)

学校になじめず、不登校になってしまった「まい」は母方の祖母の家に行くことになり、そこで、“何でも自分で決める”という魔女修行をすることになり、修行や祖母との生活を通じてまいが成長していく話です。2008年に映画化されています。

「ディズニーそうじの神様が教えてくれたこと」

「ディズニーサービスの神様が教えてくれたこと」

2冊とも 鎌田 洋//著 ソフトバンククリエイティブ 689カ (一般)

東京ディズニーリゾート（ディズニーランド・ディズニーシー）を運営するオリエンタルランド社に入社し、夜間の清掃部門を振り出しに、その後全スタッフを教育・育成する教育部門である教育部長代理を経て独立した著者が、ディズニーランドで体験した様々なエピソードを「物語」として描いています。

「リリース」 草野 たき//著 ポプラ社 913ク

外科医の父をもつ明良。「後を継いで医者になれ」という父の遺言で明良の将来は勝手に決められるとともに、家族からは期待されたため、プロバスケット選手になることを夢見る気持ちを隠して生きてきます。ところが、兄の裏切りや祖母の発言によって明良は・・・。

「よるの美容院」 市川 朔久子//著 講談社 913イ

月曜日の夜、美容院の暗い店内に、あまいシャンプーの香りが立ちのぼる。シャンプーのやわらかな指先に、心を閉ざしていたまゆ子の心が、ふっくらとやさしくほどかれていく・・・。

「きよしこ」 重松 清//著 新潮社 913.6イ

吃音症（きつおんしょう。発音がうまくできない症状のこと。）に悩み苦しむきよし少年が、自分と向き合いながら成長していく話を小学一年生から高校三年生までを七つの短編によって描いた作品

「大草原のちいさなおオカミ」 ^{じやん ろん}姜 戎 // 作 ^{たん やみん}唐 亜明 // 訳 講談社 923ジ

草原の長老から話を聞き、すっかりオオカミの虜になった中国人の学生チェンジェンは、オオカミの子を飼おうとするが…。3

「ちいさなちいさな王様」 アクセル・ハッケ // 作 ミヒヤエル・ゾーヴァ // 絵

那須田 淳・木本 栄 // 共訳 講談社 943ハ

ある日、僕の部屋に現われた、人差し指ぐらいの大きさしかない小さな王様。彼が言うには、子ども時代に一生が終わってしまうらしい。僕らのところとはちがって……。

「メジルシ」 草野 たき // 著 講談社 913ク

両親の離婚と、全寮制高校への進学のため、家族がバラバラになる主人公の双葉。父親の提案で、北海道へ家族最後の旅に出ます。3泊4日旅の中で、双葉は改めて家族と自分を見つめ直します。

「オレたちの明日に向かって Life is Beautiful」

八束 澄子 // 著 ポプラ社 913ヤ

中2の職場体験で、保険代理店を希望した花岡。保険代理店の経営者は家族でお世話になっている今井さんである。保険事故の対応で様々な人にも誠実に仕事をこなす今井さんを花岡は尊敬しはじめます。その中で、花岡の中にも少しづつ何かが変わり始めていきます。

「のっぽのサラ」 パトリシア・マクラ克蘭 // 作 金原 瑞人 // 訳 福武書店 933マ

緑の草原をぬけて、遠い海のある土地から私たちのうちにサラがやってきました。サラはパパの新しいおくさんです。サラはいろんなことを教えてくれました。そして、ある日サラは町に行ってしまいました。わたしと弟はとっても心配になりました。もう帰ってこないんじゃないかしら…。

「新ちゃんがないた！」 佐藤 州男 // 作 長谷川 集平 // 絵 文研出版 913サ

新ちゃんは足が悪い。でもおれの一番の親友だ。足が悪いから、4年生までは、遠い学校に行っていたが、これからは、おれと同じ小学校に通うことになった。こまったこと、つらいこと、いっぱいあったかえど、新ちゃんはずぜったいに泣かなかった。

「こおりついた街で」

ヤーブ・テル・ハール // 著 高柳 英子 // 訳 祐学社 949ハ

ナチスに包囲されたレニングラード。少年ボリスは食べ物を求めて、幼なじみの少女ナージャと、ロシア軍とドイツ軍がせめぎあう〈無人地帯〉に出かけた。そこで、敵のドイツ軍に捕まってしまった、2人は、兵隊の思わぬ行動に驚く。なんと、白旗を持って、ロシア軍のところまで送り届けてくれたのだ…。

「ぼくはここにいる」

さな ともこ // 作 かみや しん // 絵 講談社 913サ

ツライ学校生活に息の仕方も忘れてしまったボクは、屋上から飛び降りようとした。でも、その時どこからか「お命、預からしてもらいます」と声がして……。
関西弁を話す目に見えないおかしい星と、人生に絶望したボクの不思議な夜空の散歩。毎日が辛くて苦しい、未来を見失ってしまいそうな人へ贈るお話です。

「ソルハ」 帚木 逢生 // 著 あかね書房 913ハ

1996年9月27日、アフガン政権が崩壊し、タリバンが首都カブールを制圧。生まれたときから戦争が日常の風景だった少女ビビ。タリバンの厳しい監視下のもと、自由を奪われ、好きな勉強もままならぬ状況に置かれながらも、「すべてはアッラーのおぼしめし」と受け入れ、悲しみに耐える少女ビビの純真さに心打たれます。

国や民族、宗教の違いを超えてソルハ（平和）の意義を問う、戦禍を生き抜く少女ビビの物語です。

この本の中で紹介されている一万時間の法則を、確かめてみてはいかがでしょうか。

「ピアノ調律師」

M・B・ゴフスタイン作・絵 すえもりブックス 933ゴ

ピアノ調律師のデビー・ワインストックは小さな孫娘をひきとることになった。彼は彼女にピアニストになってほしかったが、彼女は、ピアノ調律師になりたいと思っていた。やがて、町で行われるコンサートに有名なピアニスト、アイザック・リップマンがやってくることになった。ピアニストは、ワインストックの調律師としての腕に全面的信頼を持っていた。対面のあと、コンサート用のピアノを調律している間、孫のデビーは、今日予定していたパールマン婦人の家のピアノを自分で調律しようとしてしまう…。

☆自分のなりたい職業を考えさせられる一冊。